

1月の保育 ○ねらいと担任の思い

<4歳児 りす組>

冬休み明けは生活リズムを整え、風邪などの予防に気を付けながら健康に過ごせるようにしていきます。冬休み中に経験したことを遊びに取り入れたり、友達と一緒にコマやカルタなどの正月遊びを楽しんだりする中で年長組の取組からも刺激を受けながら、自分なりの力を発揮することにつながっていきます。ますます寒さが厳しくなりますが、鬼遊びや中当てなど戸外での遊びも積極的に誘い掛け、身体を動かして遊ぶ心地よさや身体が温まる経験などを積み重ねていきます。風のある日に凧揚げをする、吐く息の白さに気付く、薄氷に触れたりする、寒さの中でも生長を続ける植物の様子を観察するなど、この時期ならではの自然に関われるようにしていき、自然の不思議さや面白さを感じたり、さらに興味をもったりできるよう、子どもたちの発見や気付きに共感しながら機会をつくっていきます。

年長組と一緒に、劇遊びや楽器遊びなどいろいろな表現遊びを楽しんでいきます。役になりきって動く、友達と一緒にイメージや思いを出し合いながら遊ぶなどの経験を積み重ね、表現する楽しさや満足感を味わえるように援助していきます。

☆自分なりにめあてをもったり、試したりしながら遊ぶことを楽しむ。

☆様々なイメージを膨らませながら友達と一緒に遊んだり、表現したりする楽しさを味わう。

☆次にすることや活動への期待をもち、自分から動いたり取組もうとしたりする。

☆冬の自然の様子や栽培物の変化に関心をもち、遊びに取り入れたり世話をしたりして親しむ。

<5歳児 はと組>

幼稚園生活の締めくくりとなる3学期が始まりました。冬休み中にご家庭でもコマや縄跳びを楽しんだことと思います。竹馬や縄跳びなどへの挑戦意欲も引き出しながら戸外で体を動かして遊べるように誘い掛けていきます。凧作りを取り入れ、よく揚がるための紐の位置や傾きなどを試す中で発見したり、成功したりする喜びを味わえるようにしていきます。ドッジボールや鬼遊びのような友達とのルールのある遊びも、縄跳びや凧揚げ、投げゴマなど自分なりの目標に向かって取り組む遊びもどちらも大切です。小学校以降の学習への意欲にもつながるよう、諦めずに根気強く取り組み、できるようになったうれしさや達成感、充実感を味わえるように続けていきます。

来月の発表会に向けて表現活動を楽しむとともに、みんなで目的や思い、考えの共有や伝え合い、友達から認められるうれしさなどを大いに味わいながら取り組んでいくことができるよう援助していきます。

寒さの中にも園庭の木々やプランターには春に向けて新しい芽が見え始めています。秋に植えたダイコンも大きく生長しています。冷え込む日には再び霜柱や氷との出会いもあるでしょう。自然の小さな変化にも目を向け、自然の不思議さや面白さを感じられるように関わっていきたいと思います。

☆自分なりのめあてに向けて繰り返し挑戦したり、取り組んだりしていく楽しさを味わう。

☆思いや考えを伝え合い、友達と協力したり工夫したりしながら生活や遊びを進めていくことを楽しむ。

☆身近な冬の自然の事象に気付き、遊びの中で試したり、考えたりし、関心を深める。